
奈良県みんなでのしむ大芸術祭実行委員会 第8回総会 議事録（要旨）

- 1 日 時 : 令和7年7月9日(水) 10時30分～11時00分
- 2 場 所 : 奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン) 2階 イベントルーム
- 3 出席者 : 実行委員会委員 11名
- 4 議 事 :
 - 第1号議案 令和6年度 奈良県みんなでのしむ大芸術祭 決算報告
 - 第2号議案 令和7年度 奈良県みんなでのしむ大芸術祭 実施計画(案)

資料に基づき、事務局より、第1号議案及び第2号議案について説明を行った。その後、第1号議案及び第2号議案について採決を行い、全員一致で承認された。

なお、令和7年度 奈良県みんなでのしむ大芸術祭 実施計画(案)について各委員から以下のとおり意見があった。

▼イベントのインターネット配信などが充実してきたことで、現地に足を運ぶのが難しい方々にも配慮がなされるようになり、毎年、課題やニーズに対応しながら、誰もが楽しめるイベントになってきていると感じている。一方で、会場で実際に楽しみたい、現地の雰囲気を感じたいという声もあり、会場での配慮や対応するスタッフの障害に対する理解や対応力の向上についても、今後取り組んでいただきたい。

⇒(事務局) 障がいのある方の特性や困りごとを学ぶためのテキストを活用し、委託業者も含めた関係者全体の理解や対応力向上に努める。

▼みんな芸では、障害のある方、健常者の方、子どもから高齢者まで、多様な方々に参加いただいているが、裏方として関わる多くの方々もイベントの成功を支えている。そうした方々の貢献にも光を当て、適切に評価していくことが重要だと感じる。障害のある参加者や団体で参加された方、ボランティアの皆さんの声を集めた『コメント集』のような形で、大芸術祭終了後に振り返ることができれば、次回以降の改善や情報共有につながり、有意義であると思う。

⇒(事務局) イベント終了後に参加団体やスタッフへのヒアリングを実施し、良かった点だけでなく改善点や課題を収集し、次年度の改善につなげる。

▼地域の多様な場で、障害のある方の参加機会を広げていくことも重要なので、市町村でのイベントや地域のサークルの展示会や発表会など、より多くの方が交流できる環境づくりを目指してほしい。また、市町村や関係団体との連携を強め、イベントの周知についても、各市町村を含めた県下全域で徹底的に実施してほしい。

⇒（事務局）市町村と協力し、イベントの周知を徹底する。特に、県民だより9月号の巻頭特集ページを活用し、県民への周知を図る。

▼昨年度の『まほろばあいのわコンサート』は、様々なメンバーをよくまとめられていて非常に感心した。参加することが生きがいにも繋がると思うので、多様な方が来やすくなる、出会う機会を作っていくということを充実していただきたい。

⇒（事務局）しっかり交流を図れるイベントに仕上がるように、引き続き取り組む。

以上